

平成 28 年 3 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 エスエルディー
 代表者名 代表取締役社長 青野 玄
 (コード: 3223 東証 JASDAQ スタンダード)
 問合せ先 取締役 副社長 伴 直樹
 (TEL. 03-6277-5031)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 5 月 15 日に公表しました平成 28 年 3 月期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,521	百万円 273	百万円 285	百万円 169	円 銭 131.30
今回修正予想 (B)	5,250	110	120	0	0.00
増 減 額 (B - A)	△271	△163	△165	△169	
増 減 率 (%)	△4.9	△59.7	△57.9	△100.0	
(参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	4,527	203	204	116	106.40

(2) 修正の理由

(売上高について)

既存店舗においては、上半期における主力店舗が集中する首都圏における台風や大雨等の天候不順による集客への影響が大きく、年末年始の繁忙期は堅調に推移したものの、売上高は前年同期比 97%程度となり、当初計画に対しても下回る見込みとなりました。また、新規店舗においては、商業施設等による出店引合いが想定を上回り、出店数が当初予定の 10 店舗に対して 14 店舗の結果となる見込みですが、その内、一部の店舗については、既存店舗同様の天候要因に加え、一部の新エリアへの新規店舗において当初想定していた以上に顧客認知に時間を要していること、試験的な小規模業態店舗の出店を行ったことによる影響が特に下半期(年末年始の繁忙期を含む)において発生し、また、一部の前期出店店舗のオープン期間特有の集客効果の反動が想定以上であった影響等もあった結果、新規店舗の売上高についても当初計画を下回る見込みとなりました。

なお、当社は前々期末までにに出店した店舗を「既存店舗」、前期以降に出店した店舗を「新規店舗」と定義しております。

(利益について)

材料費、出店初期費用等のコストコントロールを実現したものの、上記の既存店舗及び新規店舗の売上高減少による影響が大きく、営業利益及び経常利益につき、当初計画を下回る見込みとなりました。

また、出店商業施設の建替え決定等に伴う退去店舗及び一部の収益性が低下した店舗につき、固定資産の減損処理に係る特別損失の計上見込みにより、当期純利益についても当初計画を下回る見込みとなりました。

当社は、「To Entertain People ～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、店舗運営等を通じて様々なカルチャーコンテンツを引き続き提供してまいります。かかるカルチャーコンテンツの企画・開発の環境基盤である直営店舗展開につきましても、既存店舗業績を確保するための様々な営業施策、新規店舗の安定的かつ積極的な出店に加え、新たな業態・メニュー・イベント等のユニークなコンテンツの充実に注力してまいります。

2. 特別損失の計上について

当社は、平成28年3月期通期の決算において、特別損失として上記の出店商業施設の建替え決定等に伴う退去店舗及び一部の収益性が低下した店舗の固定資産につき、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失約110百万円の特別損失を計上する見込みとなりました。

(注) 本資料に記載されている業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上